

『医療機器用微細部品ビジネス』に参入

株式会社 ヨコオ
東京都北区滝野川 7-5-11
TEL : 03-3916-3111 (代表)

■要 旨

- (株)ヨコオはこのほど、新事業分野「医療機器用微細部品ビジネス」への参入を決定し、保有している微細精密加工技術をコア技術に、カテーテル用微細精密加工部品を中核とする『メディカル・デバイス』の事業化に着手しました。

■『メディカル・デバイス』事業化への経緯

- 当社は今日まで、無線通信のキーデバイスであるアンテナの総合メーカーとして、長年培ってきたアンテナ技術・マイクロ波技術・微細精密加工技術を駆使して、各種の高性能・高品質のアンテナ及び関連機器を開発・市場投入し、電子・電機・自動車メーカーより高い評価を頂いております。
また、電子機器の小型化・省スペース化ニーズにマッチしたスプリングコネクタに代表されるファインコネクタや、高性能・高密度・高集積化する電子部品の検査をマイクロ波技術との融合により可能とする回路検査用コネクタなども、当社が得意とする微細精密加工技術を基礎とする製品であり、当社は総合コネクタメーカーとしても更なる飛躍を目指しております。
- このような状況の中で当社は、微細精密加工技術をコア技術とした、新事業ドメイン創出に向けた探索活動を行ってきました。
その結果、医療機器市場、特に、IVR(※1)カテーテルに代表される医療用カテーテル・チューブ市場が、現代の医療技術において注目されている低侵襲治療(※2)を実現する上で当社の微細精密加工技術が活用できる市場であることに着目し、事業研究に取り組んで参りました。

■市場動向と当社の取組み

- 医療用機器は、米国等からの輸入品に依存するところが大きく、特に IVR 市場においては、医療機関で使用される大半を輸入製品に頼っているのが現状です。
また、医療行政の問題から、医療機関は慢性的赤字体質となっていますが、その解消を狙った法改正により、医療機関では経営の見直しが迫られています。このため、公定価格(償還価格)の引き下げ、特定機能病院における手術費用の包括化の可能性などから、医療機器メーカーでは、コスト低減とグローバルな競争力の強化が重要課題とされています。

このようなことから当社では、カテーテル等医療機器用部品メーカーとして重要なポイントは、低侵襲治療を実現するための先進性をもった微細加工技術を有していることだけでなく、部品の低価格化への対応、試作・短納期対応などのサービスの充実等、急速に変化しつつある顧客ニーズに対応することと判断いたしました。

■事業化推進の概要

○当社では今回、事業化のコンセプトを「医療用コンポーネントビジネス」とし、第一ステップとしては、カテーテル等に使用されている微細加工部品に的を絞って、事業展開を推進いたします。

対象となる製品(部品)は、医療用ディスポーザブルカテーテルの構成部品である金属製チューブ・リング、金属製切削加工部品、金属製各種コイルです。

○当社では、医療用微細精密加工部品ビジネス事業化を本格化するために、コネクタカンパニー内に「MD (Medical Device)プロジェクト」(略称：MDP)を設定し、事業化を推進します。

尚、売上高については今期2億円(年間)を計画しております。

※1： IVR：Interventional Radiology

X線診断に組み合わせて使用するカテーテルの総称

※2： 低侵襲治療

外科手術による患者の負担の軽減を目的とした治療

本件に関するお問い合わせ先 コネクタカンパニー MDプロジェクト TEL：03-3916-3118
--

以 上